

※26日現在。自治体取材などに基づき、重複の可能性がある。再陽性の一部も含む。
カツコ内は前日午後10時半以降の増加数。「その他の確認例」はダイヤモンド・プリ
ンセスなどの感染者者。

国内の新型コロナウイルス感染者

死者	感染者	死者	感染者	死者
54	2733 (+5)	168	9357 (+20)	1173 (+1)
168	50313 (+300)	584 (+1)	19354 (+116)	51
1173 (+1)	3519 (+17)	18	1240 (+11)	2
584 (+1)	1240 (+11)	2	211	35
51	286 (+1)	35	2642 (+5)	106
18	5108 (+6)	43	1403	18
2	1232 (+39)	18	504 (+6)	24
35	914 (+28)	19	780	19
106	18879 (+28)	330 (+1)	1164	12 (+1)
43	1164	12	1625	38
18	1625	74	3495	22
24	3495	22	1304	28
19	1949	28	1790 (+12)	127 (+1)
330 (+1)	1790 (+12)	127 (+1)	9077 (+89)	
12 (+1)				

その他の確認例

合計 465883人 (+2028) うち死者 9017人 (+33)

退院・療養解除 439538人

重症者 323人 (-2)

※厚生労働省集計。26日午前0時現在

厚生労働省の 0120-761-770 | フリーダイヤル
新型コロナワクチン相談窓口 午前9時～午後9時 土日・祝日も実施

大阪 2カ月ぶり300人

コロナ感染 30代以下増顯著

大阪府では感染再拡大の懸念が強まっている。大阪市以外の地域では、時短営業要請の解除後に感染者数が急増。26日の新規感染者数は300人となり、1月30日以来、300人に達した。この日の府対策本部会議では、時短要請の期間延長と府全域への対象区域拡大を決定したが、専門家か

ら「放置すれば高い確率で第4波の襲来が予想される」との意見も出された。
(1面参照)

府によると、25日までの1週間の累計感染者数は1201人。緊急事態宣言解除後、時短要請の対象を大阪市内に絞った。これを機に市外の感染者数は増え始めており、25日までの1週間で人口10万人あたり11・38人と約3倍に。時短要請が続く市内も、市外から約1週間遅れで増えて同17・78人となり、国指標の4段階のう

代以下の増加が顕著だが、

ち上から2番目の「ステージ3（感染急増）」の自安となる15人を上回った。医療機関では第3波の余波が消えぬまま、再び病床逼迫の不安に直面している。25日時点の重症患者は35・5%。府は第3波のように拡大すれば、5月初旬にも7割を超えるとみる。変異株への懸念もある。府はこれまで244人の変異株感染者を確認。若年層の感染増との関連を指摘する見方もある。国は変異株感染者は原則入院としているが、府は病床逼迫の恐れから、宿泊や自宅療養も可能とする方針だ。

26日の府対策本部会議では専門家の意見も公表された。大阪市立総合医療センター感染症内科の白野倫徳医長は「年度替わりの人の移動に伴う急増が予想され、早めにフレーキをかけ必要がある」と訴えた。

【松本光樹】